



し ょ う な ん め ー る

SHONAN
湘南鎌倉総合病院広報誌

Mail

Number 151
2019 October



撮影場所：長野県 志賀高原
撮影者：患者支援室 大久保 由美 副主任

▶ 特集 ◀

消化器病センターのご紹介

消化器病センター 部長 佐々木 亜希子

- 特定保健指導について
- “けんしん” って受ける必要あるの？
～検診と健診で健康増進！～

- お知らせ
がんサロン開催・病院祭開催



「消化器がん」の早期発見・最適な治療と、徹底的な予防を目標に！

2人に1人が、「がん」になるといわれる時代、「がん」は決して他人事ではありません。2014年には新たにがんと診断された患者さんの中で、男女合計すると大腸がんが1位、胃がんが2位でした。また、男性は肺がんについて胃がん、女性は大腸がんで亡くられる方が、最多となっています。また、男女ともに飲酒を行う近年、食道がんと診断される方も増えてきています。

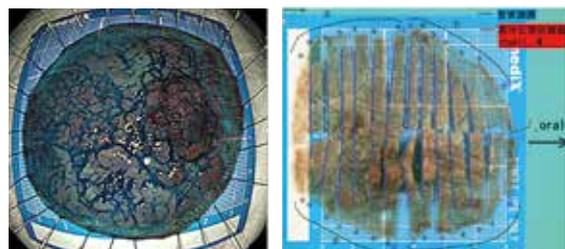
1 がんの早期発見と苦痛のない内視鏡検査

がんの早期発見には、苦痛のない内視鏡検査が大事だと考えています。検査自体が辛くて検診を受けなくなると、がんの発見が遅れることになりかねません。当院では、希望のある方には鎮静剤を用いた検査を行うことにより、初めての方でも苦痛なく検査を受けて頂けるように配慮しています。

2 がんの治療

I. 早期がんに対する内視鏡治療

がんの早期発見は、体にとって負担の少ない（低侵襲）治療ができます。近隣病院の先生方には、いつも非常に早期のがんの患者さんをご紹介頂くので本当に感謝しております。当センターでは、食道から大腸まで全消化管早期がんに対し、内視鏡的に治療を行っています。また、治療後にご紹介元の医療機関で経過観察を継続して頂けるように連携をとっております。

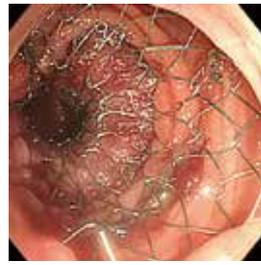


▲内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)により、切除したがん

1.EMR（内視鏡的粘膜切除術） 2.ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）

II. 進行がんに対する内視鏡治療

近年大腸がんの患者さんが増えています。当院は救急指定病院であり、大腸がんによる大腸閉塞のステント留置件数は年間20例です。24時間対応可能な当院の救急総合診療科、外科のバックアップのもと、内視鏡で大腸ステントを挿入することにより、速やかにお腹の痛みが取れ、腸が破れるという事態を防ぐことができます。また、その後の速やかな外科手術に繋げることが可能です。その他、食道・胃などの消化管ステント挿入による緩和的治療にも対応しています。



▲大腸ステント挿入写真



▲大腸ステントレントゲン

3 がんの予防

究極的には、がんが予防できるに越したことはありません。

胃がんであればピロリ菌の除菌、食道がんであれば飲酒喫煙の制限といった生活指導を行っています。ただ、がんの早期発見や治療が進む一方で、予防に関しては研究段階のことが多いのが現状です。

当センターでは、どのような方ががんにかかる危険性が高いのかを調べる全国的な研究に参加しています。未来のがん予防に繋げるために、患者さんの負担のない範囲で、ご協力を頂ければ幸いです。



▲鳥肌胃炎 ピロリ菌感染が大きな原因
悪性度の高い胃がんへ移行しやすい胃炎

4 家族性腫瘍 「私って、がん家系？」

気づけば家族にがんの人が沢山いるという場合、「がん家系かな？」と思う方も多いかもしれません。家族性腫瘍はがん全体の約5%を占めるといわれ、特定の遺伝子の変化により生まれつきがんが発症しやすい特徴があります。学生さんや、働き盛りの若い世代、お子さんの小さい母親世代のがんをできる限り予防・早期発見していきたいと考えています。以下のようなご心配のある方は、お気軽に消化器病センターの外来へご相談ください。

- a. ご自身もがんになったことがあり、家族にがんの人が多い
- b. 30歳代など若くしてがんになったため遺伝的な体質が心配

5 救急疾患・良性疾患の対応

当センターでは24時間365日、当院の救急総合診療科、外科のバックアップのもとに、消化器疾患の診療を行っています。

- ① 出血性消化管疾患：上部消化管出血（胃十二指腸潰瘍など）、小腸出血、下部消化管出血（憩室出血など）
- ② 炎症性腸疾患：潰瘍性大腸炎、クローン病、腸管ペーチェット病など
- ③ 逆流性食道炎、ピロリ菌除菌相談、機能的胃腸症、過敏性腸症候群など

多岐にわたる良性消化管疾患の診療にも対応しておりますので、お気軽にご紹介、お問い合わせください。

● 消化器病センター外来のお知らせ

一般外来診療は完全予約制ですので、近隣医療機関からの紹介状をご用意頂き、受診前にお電話または消化器病センター受付にて、ご予約をお取りください。

消化器病センター／電話予約受付時間：月～土（日曜・祝日を除く）8:30～17:00

ご質問がございましたら、お気軽にご相談ください。疾患内容によりお急ぎの方は、直接お電話をお願い致します。

☎ 0467-46-1717 (代)



医 長
いちた ちかまさ
■市田 親正
専門分野:消化管・消化器一般

医 長
ますだ さくえ
■増田 作栄
専門分野:胆道・膵臓

後期研修医
きむら
■木村 かれん

たさき じゅんいち
■田崎 潤一
専門分野:消化器一般、内科全般

後期研修医
たざわ ともひこ
■田澤 智彦

部 長
ささき あきこ
■佐々木 亜希子
専門分野:消化管疾患の診断と治療

顧 問
かこまこと
■賀古 眞
専門分野:肝臓

主任部長
こいずみ かずや
■小泉 一也
専門分野:膵・胆道領域

医 師 紹 介 消化器病センター部長 佐々木 亜希子

当院の消化器病センターは、主に消化管部門と肝・胆膵部門にわかれており、私は消化管疾患を専門としています。

私は、生まれも育ちもこの病院近辺の湘南地区で、小学校から高校卒業までを神奈川県横浜市で過ごしました。フェリス女学院中学・高校時代には、毎日244段の階段を昇って学校に通い、テニス部に所属して港の見える丘公園をジャージ姿でランニングしたり、中華街に寄り道して怒られたのが良い思い出です。医師である祖父母の住む京都から滋賀医科大学に通いヨット部に所属し、一方で学生研修や旅行でアフリカやアジアなど海外へ行く機会が多く、将来は熱帯医療や母子保健に関わりたいてと考えていました。

2004年に医学部を卒業して、当時珍しかった感染症内科のある東京大学附属病院の初期研修医となりました。卒業と同時に専門科の医局へ入局するのではなく、全科をローテートすべきであるという政府の方針のもと発足したスーパーローテート制度の初年度で、各科を6週間ずつ回るというハードな研修を受けました。そこで、消化器内科で私の指導医だった矢作 直久医師(現・慶應義塾大学医学部腫瘍センター教授)に、「早期胃癌は内視鏡(胃カメラ)で治せる!」という技術を魅せて頂いたのです。今でこそ標準治療となった内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)であり、それが私と消化器内科との出会いでした。



▲フェリス女学院テニス部時代



▲滋賀医科大学ヨット部時代

▼滋賀医科大学 ケニアHIV孤児施設での研修



「熱い消化器内科医」との出会いが今の私の原点。 消化器がんの早期発見と低侵襲治療に携わりたい...

自身の父親も、私が医学部6年の時に胃がんと診断され手術を受けました。その時の主治医が国立病院機構横浜医療センターの岸野 真衣子医師（現・東京女子医科大学医学部消化器内視鏡科講師）で、内視鏡的には胃がんなのに生検で診断がつかない、と計4回も再検査をして頂き、最終的に粘膜面には数mmしか顔を出していない進行がんの診断が付き、無事治療に結び付けてくださいました。こうしてお2人の熱い消化器内科医との出会いが今の私の原点であり、「消化器がんの早期発見と低侵襲治療に携わりたい」と志を決めました。



◀消化器内科スタッフになって2010年医師6年目。「3度の飯より内視鏡！」時代



▲後期研修医時代:2008年



◀後期研修医時代(山崎の旧病院)・・・2008年

ほぼ変わらない田中江里先生、同期入職で戦友の阿多智之先生、若かりし穴戸先生(循環器科)、西田先生(呼吸器外科)などなど...

消化器病センターの規模が大きく、診療もより専門的に。

湘南鎌倉総合病院には、2007年に後期研修医（医師3年目）で入職しました。消化器内科医になる前に、後期研修3年間は当院の総合内科で学ぼうと決めました。大学病院から野戦病院に飛び込み、適応に時間のかかった私を見守ってくださった総合内科部長の北川 泉医師、当時少なかった女性医師として相談に乗ってくださった田中 江里医師（現・葉山ハートセンター院長）、総合内科診療の楽しさと奥深さを指導してくださったジョエル・S・ブランチ臨床教育部長や、松下 達彦医師（現・

済生会滋賀県病院）、菅波 由有医師（現・野市中央病院）が、私の総合内科時代の恩師であります。2010年（医師6年目）より、当時消化器内科部長の森山 友章医師（現・岡山中央病院）に師事して当院のスタッフとなりました。その後、肝臓専門医である賀古 眞顧問、魚嶋 晴紀医師、胆膵専門医である小泉 一也主任部長、増田 作栄院長が赴任して下さり、消化器病センターの規模が大きく、診療もより専門的になっていきます。



▲2018年 APDW in Korea 海外の学会に参加



▲内視鏡室はいつも賑やかです



▲若くて元気なスタッフ達 2019年 ENDO club in Sapporo

救急疾患のみならず、高度で専門的ながん診療を行うために2014年から2019年まで赴任してくださった江頭 秀人医師の厳しくも深いご指導は、消化管の専門家としてのあり方を体現してくださいました。

今後も、肝胆膵のスタッフはもちろん、消化管チームの屋台骨として活躍している市田親正医長をはじめ、田崎潤一医師、田澤 智彦後期研修医、西野 敬祥後期研修医、木村 かれん後期研修医という消化器内科のスペシャリスト達とともに、ますます質の高い消化管診療に取り組み、挑戦していきたいと考えています。

健康管理センターより

利用券をそのままに
していませんか？

特定保健指導 ってなに？

腹囲またはBMIが該当し、血圧・血中脂質・血糖の項目が1個以上該当した場合
保健指導対象となり、医療保険者から利用券が届きます。

腹 囲

男性85cm以上 女性90cm以上 またはBMI25以上(男女共通)
※BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)

血 圧

最高血圧…130mmHg以上
最低血圧…85mmHg以上
※どちらかまたは両方該当

血中脂質

中性脂肪…150mg/dl以上
HDLコレステロール…40mg/dl未満
※どちらかまたは両方該当

血 糖

空腹時血糖…100mg/dl以上
HbA1c(NGSP)…5.6%
※どちらかまたは両方該当

た ば こ

喫煙中

※腹囲、BMIが該当し、たばこのみか該当した場合は対象外です

糖尿病、高血圧、脂質異常症など
の生活習慣病の予備軍となった方を
対象とした生活習慣改善に向けた
参加型プログラムです。



一緒に
がんばり
ましょう！

特定保健指導ではこんなことを話します。

①検査結果の説明

健康診断の結果をもとに、生活習慣病のリスクとなるような項目について説明を行います。

②生活習慣の聞き取りやアドバイス

健診結果について感じたこと、健康についての考えなどを伺い、自身の生活や習慣について振り返っていきます。その中でどんなことを改善できるかを一緒に考えていきます。

③具体的に目標設定

6ヶ月後に達成する目標値を設定し、どのように達成していくか一緒に考えていきます。*支援期間と支援方法は契約内容によって異なります。

④個別指導でサポート

支援期間内ではメール・電話・お手紙などでスタッフが継続的な支援を行います。



健康管理センター
副主任 岡本 明恵

健康管理センター
保健師 山下 さなえ

対象者：健康診断の結果で保健指導の対象となり、利用券が届いた方。
お問い合わせ・ご予約は健康管理センターまで
※保健指導日：月～土曜日 14:00～15:00 1日1枠1名(予約制)

TEL : 0467-44-1454
(8:30～17:00 日・祝除く)



総合診療科 Dr. より

“けんしん”って受ける必要あるの？～検診と健診で健康増進！～

皆さんは“けんしん”を受けたことがありますか？この“けんしん”という時には、「検診」と「健診」という2種類の意味が隠れています。前者は「〇〇という病気の検査診察」であり、後者は「健康かどうかの検査診察」になります。「検診」で有名なものは「がん検診」です。

けんしん？

健診

目的：健康の確認

- ▶ 血圧は大丈夫？
- ▶ 血液検査は異常ない？
- ▶ 診察・異常はない？ ...

検診

目的：病気がないか？

- ▶ 胃がんが隠れてない？
- ▶ 歯周病はある？
- ▶ “メタボ”大丈夫？ ...

※メタボ・・・メタボリックシンドローム

生活習慣病の予防と健康相談・がんの早期発見

そもそも“けんしん”は「生活習慣病の予防と健康相談、及びがんの早期発見」を目的として始まりました。その後がん検診は有用性が検討されてきましたが、健診に関しては様々な意見が出ています。健診の具体的な内容に関しては今後見直しが行われるかもしれませんが、ただ、もう一つの重要な役割として「かかりつけ医を作る」ということがあります。「この先生なら私のことをよく知っている」というかかりつけ医を持つておくことは、適切な医療サービスの提供の一助となると思います。お住まいの地域の市役所から健診案内が来ますし、ホームページに健診受診可能医療機関一覧が載っていることと思います。様々な医療サービスを駆使して、健康に過ごしていきましょう！

8月の病院統計データ	
入院数	1,973名
退院数	1,943名
外来人数	42,738名
初診数合計	4,786名
紹介状持参	2,316名
紹介入院(当月)	511名
紹介率	67.00%
逆紹介率	59.00%
ER(救急車)	1,388名
(救命救急センター紹介)	308名
(救急車)	192名
(救急入院)	207名



▲公開医学講座「“けんしん”って受ける必要あるの？～検診と健診で健康増進！～」2019年9月19日 地球市民かながわプラザでの講演の様子



写真教室の一環で10月中旬の志賀高原に。青空をバックに赤いナナカマドが映えていたので撮影。高原特有の澄んだ空気で気持ちの良い晴れた日でした。紅葉の見どころが沢山あり、何度でも訪れたい場所の一つです。

がんサロン **がん体験者の語りの場です。ふらっとお越しください!**
 (定例) 第3土曜日 (祝日除く) (対象) 患者さんとそのご家族
 (場所) 2F 21番 オンコロジーセンター待合室 参加費無料・事前申込不要・自由参加

11/16 ±
14~16時

「がんの親を持つ子供のケア」
~がんになった時家族にどう伝えますか?~

〈最初の30分に〉布谷乳がん看護認定看護師によるレクチャー付き

湘南鎌倉総合病院

第2回 **病院祭** 2019
医療・介護フェスティバル

11月17日 10:00 ~ 15:00

くま所長が遊びに来るよ!

医療講演

救急・介護車乗車体験

動物セラピー

秋の体力測定

- ★ 介護用品のご紹介
- ☆ 介護食・宅配食の試食
- ★ 医療・栄養・お薬相談
- ♪ 院内コンサート and more!

お問い合わせは
病院祭実行委員会 Qiセンター 原まで

医療法人 沖縄徳洲会

湘南鎌倉総合病院



〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本1370番1
 TEL 0467-46-1717 (代表) FAX: 0467-45-0190
 ホームページアドレス: <http://www.shonankamakura.or.jp>
 (直通) 健康管理センター: 0467-44-1454 人工関節センター: 0467-46-7172
 しょうなんメール 編集・発行: 湘南鎌倉総合病院 年報広報誌委員会

SHONAN KAMAKURA
GENERAL HOSPITAL

